

DDN-SS

ユーザーマニュアル



Ver. 1.02A

目次

1	ネットワークに接続	1
1.1	有線タイプを接続する	1
1.1.1	事前準備	1
1.1.2	本製品をネットワークに接続	1
1.2	無線タイプを接続する	1
1.2.1	本製品をネットワークに接続	1
1.2.2	無線の設定をする。接続先 SSID、暗号化、認証	1
1.3	本製品のネットワーク接続を確認する	2
2	基本セットアップ	3
2.1	固定 IP アドレスを設定	3
2.1.1	WEB 設定ページにアクセスします	3
2.1.2	IP アドレス設定画面を表示します	4
2.1.3	固定 IP アドレスの設定をします	4
2.2	本製品を接続しているルーターのポート解放をします	5
3	DDN-SS を DDNS サーバに登録	6
3.1	ドメイン登録サイトにアクセス	6
3.1.1	メールを確認 (本登録)	6
3.2	ドメインの登録	7
3.2.1	ドメイン登録画面を開く	7
3.2.2	ドメイン名の登録をする	8
4	仮想 COM ポートソフトと RS232 機器のリモート制御	10
4.1	仮想 COM ポートソフトのインストール方法	10
4.2	DDN-SS を使用して RS232 機器をリモート操作する	12
4.2.1	事前準備	12
4.2.2	仮想 COM ポートソフトの設定	12
4.2.3	接続の確認	15
4.2.4	RS232 機器の制御	16
5	簡単接続設定ソフトでの仮想 COM ポートの設定	17
5.1	簡単接続設定ソフトについて	17
5.2	ソフトウェアを立ち上げる	17
5.3	接続先設定の追加	17
5.4	接続設定	19
5.5	うまく行かない場合	19
6	WEB 設定画面	20
6.1	IP アドレスの設定	20

6.2	無線設定	21
6.2.1	無線基本設定	21
6.2.2	無線セキュリティの設定	22
6.2.3	無線 802.1x 認証設定	24
6.3	シリアルポートの設定	25
6.3.1	仮想シリアルポートの設定	25
6.3.2	当社 DDNS サーバ用の設定	25
6.4	設定の保存と復元	28
6.4.1	設定の保存	28
6.4.2	設定の復元	28
6.5	仮想シリアルポートのネットワークポートの設定	29
6.6	集荷時の設定に戻す	30
6.7	おもな初期設定項目	30
7	仮想 COM ポートの設定例	31
7.1	Nagle アルゴリズムを無効にする（通信速度が改善する場合があります。）	31
7.2	通信の暗号化	32
8	仕様	33
8.1	外観寸法	33
8.2	ネットワークインタフェース	33
8.2.1	無線タイプ	33
8.2.2	有線タイプ	33
8.3	動作環境	33

1 ネットワークに接続

1.1 有線タイプを接続する

1.1.1 事前準備

設定用パソコンを本製品と同一のネットワークに接続します。

1.1.2 本製品をネットワークに接続

本製品をルーター、ハブ等に LAN ケーブルで接続します。

付属の電源アダプタを接続し、黄色の power スイッチを押します。緑色の RUN ランプが点灯するのを確認します。

* IP アドレスは DHCP (自動取得) に設定されています。

「1.3 本製品のネットワーク接続を確認する」を参照して接続を確認してください。

1.2 無線タイプを接続する

1.2.1 本製品をネットワークに接続

本製品の出荷時の無線設定は以下です。

接続先 SSID	指定なし (接続可能なアクセスポイントに接続)
認証	認証を行わない
暗号化	暗号化を行わない

上記の設定で接続できるアクセスポイントを用意してください。付属の電源アダプタを接続します。緑色の RUN ランプが点灯するのを確認します。

* IP アドレスは DHCP (自動取得) に設定されています。ステータス LED の②がリンクステータス LED です、点灯を確認してください。

* アクセスポイントの MAC アドレス制限がされている場合でも、②の LED が点灯する場合があります。

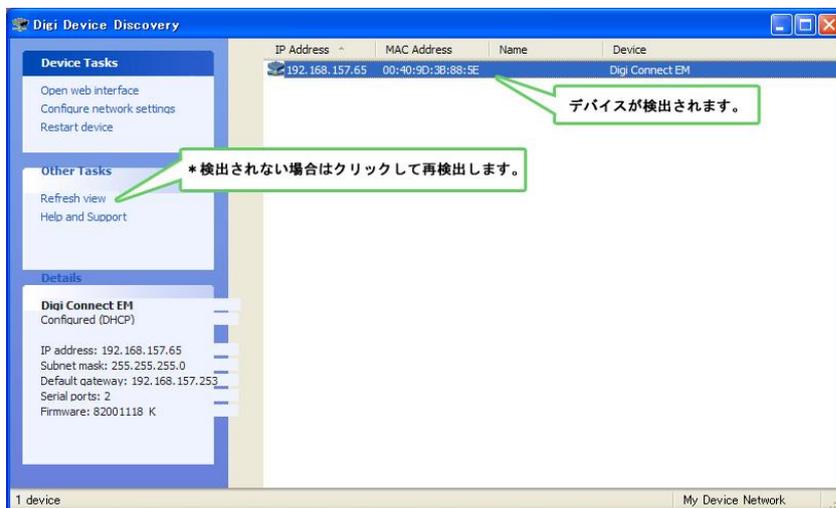
「1.3 本製品のネットワーク接続を確認する」を参照して接続を確認してください。

1.2.2 無線の設定をする。接続先 SSID、暗号化、認証

無線の設定をする場合は「6.2」の無線設定の項を参照してください。

1.3 本製品のネットワーク接続を確認する

付属 CD の dgdiscvr.exe を「ダブルクリック」して実行してください。検出したデバイスが表示されます。



検出されない場合はネットワークの設定をもう一度確認してください。

2 基本セットアップ

本製品を遠隔地から制御するためには以下の設定をする必要があります。

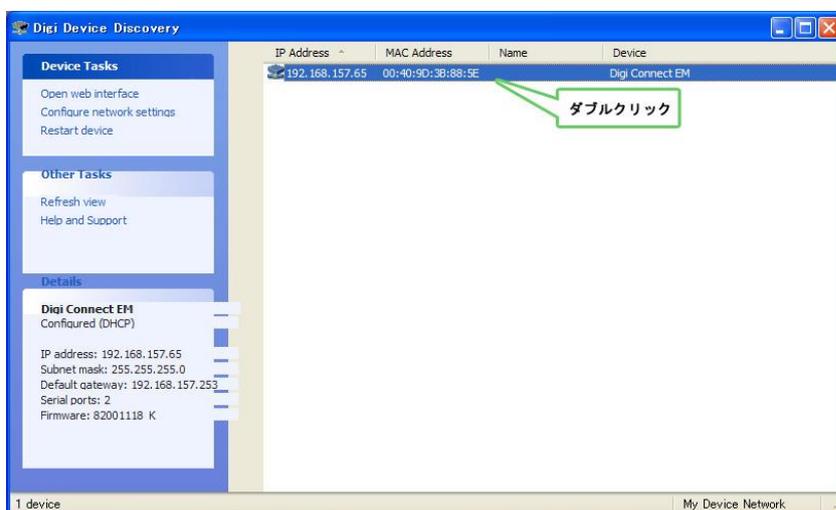
固定 IP アドレスを設定

ルーターのポートを開放

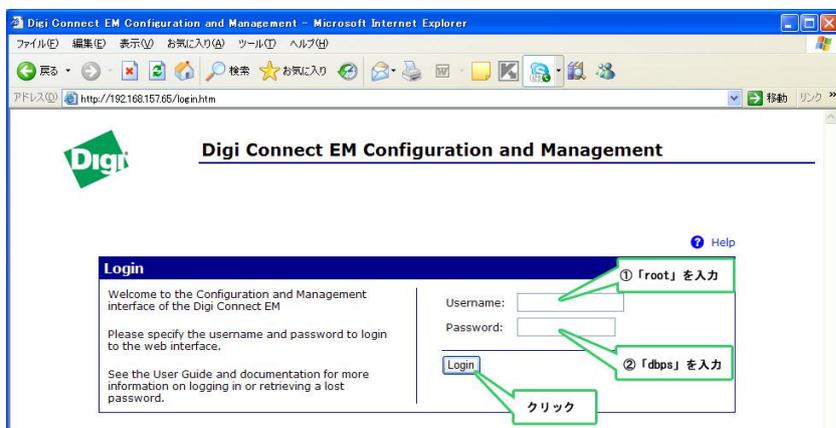
2.1 固定 IP アドレスを設定

2.1.1 WEB 設定ページにアクセスします

付属 CD の dgdiscvr.exe を「ダブルクリック」して実行してください。
以下の画面が表示されます。接続されている機器がリストアップされます。
設定する機器を選択して、ダブルクリックしてください。

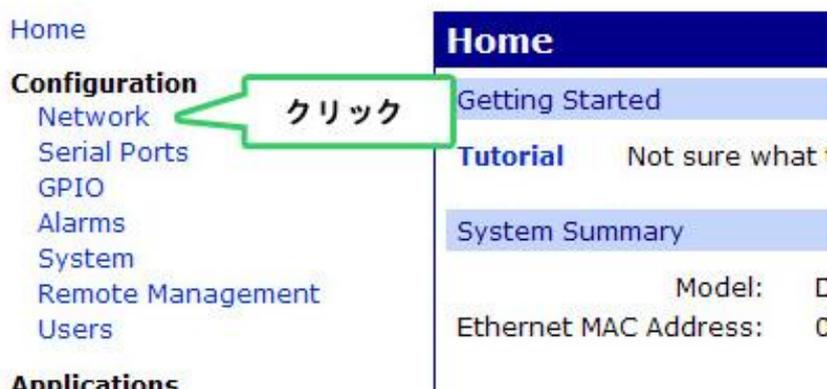


WEB ブラウザが立ち上がり、下図のログインページが表示されます。
ユーザー名とパスワードを入力し、[Login]をクリックします。
(出荷時の設定 ユーザー名: root パスワード: dbps)



2.1.2 IP アドレス設定画面を表示します

左サイドバーの Configuration 項目の Network をクリックし、ネットワークの設定画面を表示します。

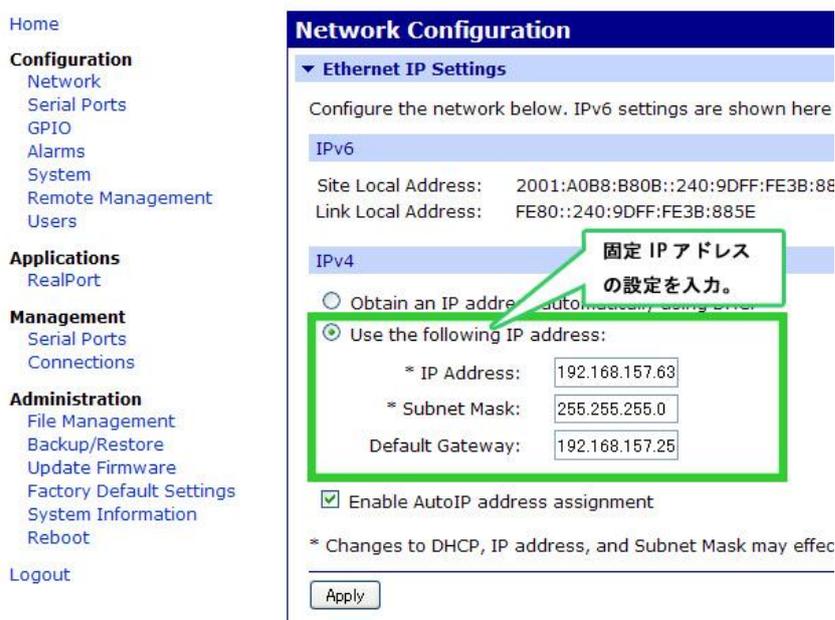


2.1.3 固定 IP アドレスの設定をします

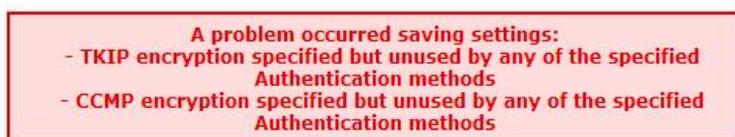
Use the following IP address をチェックし、IP アドレス等を設定します。

「Apply」をクリックします。

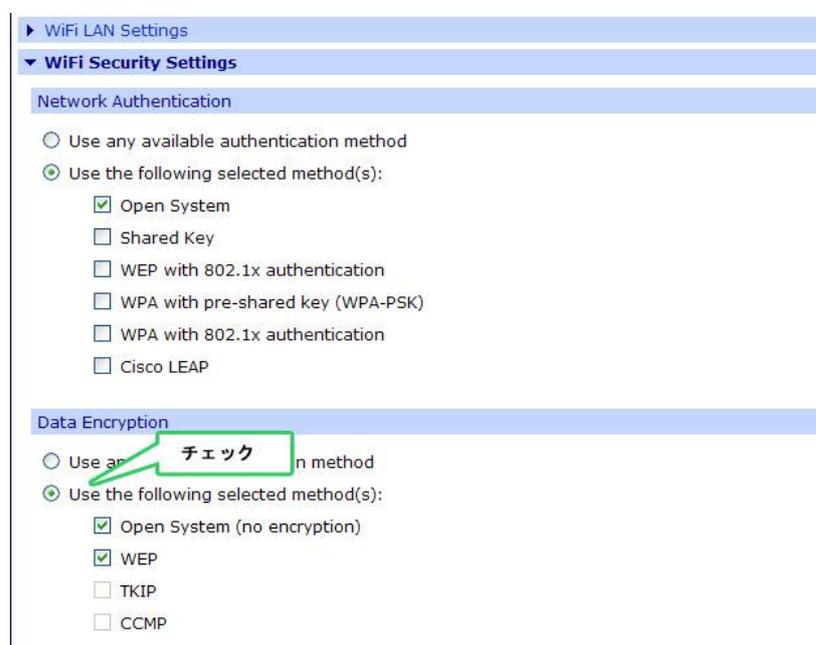
*IP アドレスは他のネットワーク機器と重複しない IP アドレスを使用してください。または DHCP サーバの割り当て範囲外の IP アドレスを設定してください。



* 下図のエラーが発生した場合



「Network」 > [WiFi Security Settings]の[Data Encryption]項目の「Use any available encryption method」をチェックし、[Apply]をクリックします。再度 IP アドレスの設定を行ってください。



2.2 本製品を接続しているルーターのポート解放をします

* ポートの開放は、ルーターに備わっている「バーチャルサーバ」「静的アドレス変換設定」「ポートフォワーディング」「NAT/IP マスカレード」等の機能を使用します。

以下のように設定します。

LAN 側 IP アドレス	本製品に設定した IP アドレス
プロトコル	TCP
ポート番号	2101

* ポート番号を 2101 以外を使用する場合は「5.5 仮想COMポートのネットワークポートの設定」を参照してください。

3 DDN-SS を DDNS サーバに登録

3.1 ドメイン登録サイトにアクセス

http://www.cadac-r.com/ddns にアクセスします。「ユーザー登録」をクリックします。



ユーザー登録

ログイン名、メールアドレス、パスワードを入力します。利用規約を読みます。「下記の利用規約に同意して登録する」をクリックします。



3.1.1 メールを確認（本登録）

登録するとメールが届きます、届いたメールにあるリンクをクリックします。(本登録されます。)

3.2 ドメインの登録

3.2.1 ドメイン登録画面を開く

登録時に使用した、ログイン名とパスワードを入力してログインします。



ユーザ情報画面が表示されるので「ドメイン登録」をクリックします。



3.2.2 ドメイン名の登録をする

ドメイン名 : お好きなドメイン名を入力してください。DDN-SS に接続する際に使用します。

DDNS コード: ブラウザで「http://(本製品の IP アドレス):2101/setup」にアクセスします、DDN-SS の DDNS コードが表示されます。(例 http://192.168.0.10:2101/setup)

「DDNS コード」の部分をコピーして、「ドメイン新規登録画面」の「DDNS コード」に貼り付けてください。

「登録」をクリックします。



ドメインが登録されます。

ユーザー情報

ログイン名	sample
メールアドレス	sample@cadac-r.com 変更

ドメイン情報

ドメイン名	DDNSコード
sample	12345678912345678910

ドメイン登録

これで DDN-SS のドメイン登録は完了です。

4 仮想 COM ポートソフトと RS232 機器のリモート制御

4.1 仮想 COM ポートソフトのインストール方法

リモート操作をする側のパソコンに仮想 COM ポートソフトのインストールをします。

DDN-SS の電源を入れ、ネットワークに接続してください。

付属 CD 内の realport フォルダ内 setup.exe を実行してください。

セットアップ・ウィザードが立ち上がります。



「次へ」をクリックしてください。



本製品がネットワークに接続されている場合 IP アドレス、MAC アドレスが表示されます、接続するデバイスを選択し、「次へ」をクリックしてください。

デバイスが検出されない場合は「Refresh」をクリックして、デバイスをもう一度検出してみてください。

検出できない場合は<Device-initiated RealPort>を選択し、次へをクリックします。



「完了」をクリックしてください。 以上で、インストールは完了です。

4.2 DDN-SS を使用して RS232 機器をリモート操作する

4.2.1 事前準備

DDN-SS をネットワークに接続します。

RS232 機器と DDN-SS を接続します。

リモート操作するパソコンを用意し、DDN-SS とは別 LAN に接続してください。

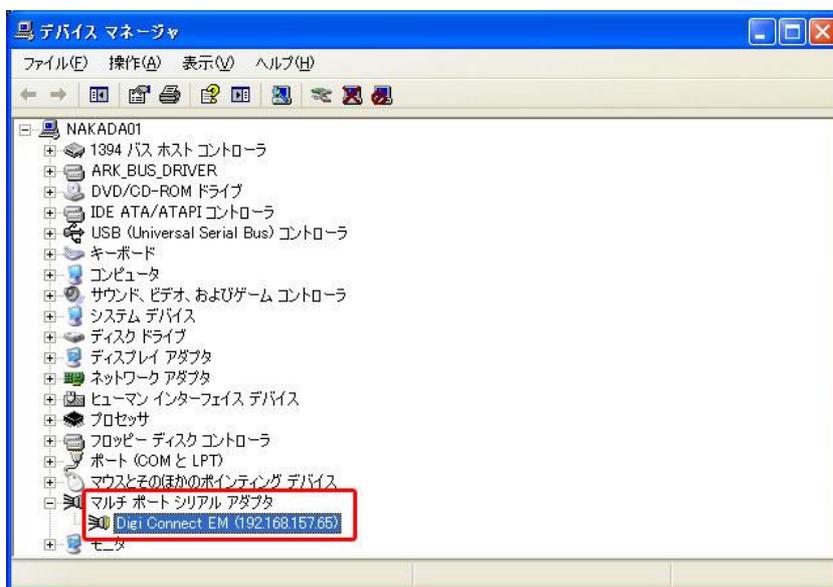
DDN-SS のドメイン登録とリモート操作するパソコンには仮想 COM ポートのインストールが済んでいるものとします。

4.2.2 仮想 COM ポートソフトの設定

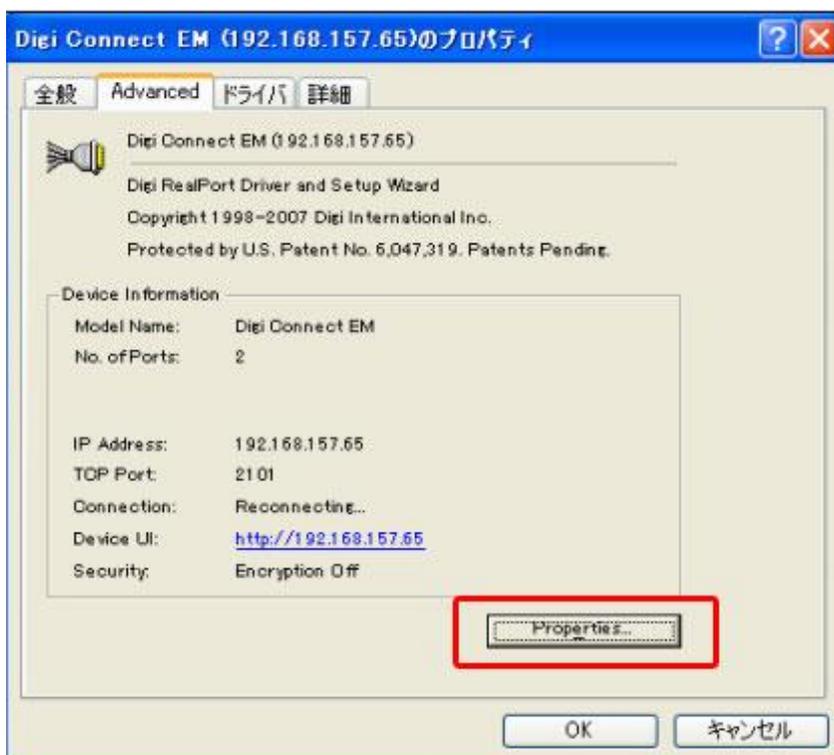
設定画面の表示

「スタート」>「コントロールパネル」>「システム」>ハードウェアタブのデバイスマネージャボタンをクリックします。

マルチポートシリアルアダプタにある「Digi Connect EM/Wi EM」を右クリックし、プロパティをクリックします。



Advanced タブの Properties ボタンをクリック



仮想 COM ポートの接続先ドメインの設定

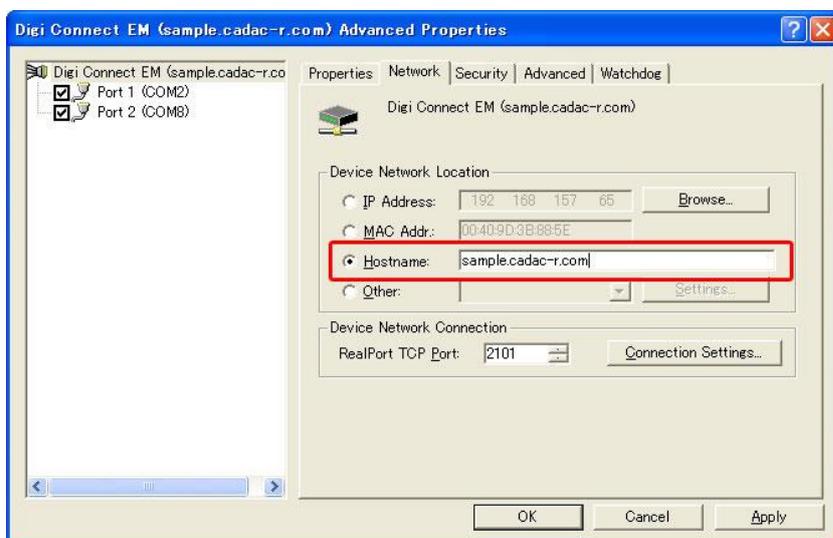
Network タブの Hostname : を選択し、「DDN-SS のドメイン登録」で登録したドメイン +(.cadac-r.com)を入力します。(例 sample の場合 sample.cadac-r.com)

OK をクリックします。

RealPort TCP Port を 2101(デフォルト)に設定します。

*COM ポート

左メニューの Port 1 の右の COM ポート番号は RS232 機器制御アプリケーションで使用する COM ポート番号です。



「はい」 をクリックします。



「OK」をクリックします。



4.2.3 接続の確認

もう一度仮想COMポートのプロパティを表示してください。Connected と表示されれば接続 OKです。



仮想 COM ポートのプロパティで Connected と表示されない場合

* IP not found と表示される場合ドメイン名が正しいか確認してください。また DDN-SS のドメインが登録済みかどうか確認してください。

* その他の場合ルータのポート開放を確認してください。ネットワーク環境をもう一度確認してください。パソコンの再起動を試してみてください。

4.2.4 RS232 機器の制御

RS232 通信のアプリケーションソフトを使用してください。

選択する COM ポートは P6 の「仮想 COM ポートの接続先ドメインの設定」の COM ポートを参照してください。

5 簡単接続設定ソフトでの仮想 COM ポートの設定

5.1 簡単接続設定ソフトについて

簡単接続設定ソフトは仮想 COM ポートの使用頻度の多い設定（ドメイン、ポート等）を簡単に設定するためのソフトです。接続先と接続モードを選択し、「設定」ボタンを押すことで簡単に設定でき、接続状態も確認できます。

5.2 ソフトウェアを立ち上げる

付属 CD を開き「DDN-SS 接続設定ソフト」フォルダの「DDN-SS 接続設定ソフト.exe」を実行します。

- * ソフトをコピーする際は「DDN-SS 接続設定ソフト」フォルダごとコピーしてください。
- * 注意 仮想 COM ポートソフトをインストールしてから、ソフトを実行してください。

5.3 接続先設定の追加

メニューバーの「接続設定ファイル」>「編集」をクリックして「接続先設定リスト」画面を表示してください。右下の「追加」ボタンを押してください。



「接続先設定」入力画面が表示されるので、



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "接続先設定" (Connection Settings). It contains three text input fields: "名前:" (Name) with the value "サンプル" (Sample), "ドメイン:" (Domain) with the value "sample.cadac-r.com", and "ポート:" (Port) with the value "2101". Below the input fields are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "保存" (Save).

名前：適当な名前を入力。

ドメイン：ドメイン登録サイトで登録したドメイン名+(cadac-r.com)を入力してください。

(例：sample の場合 sample.cadac-r.com)

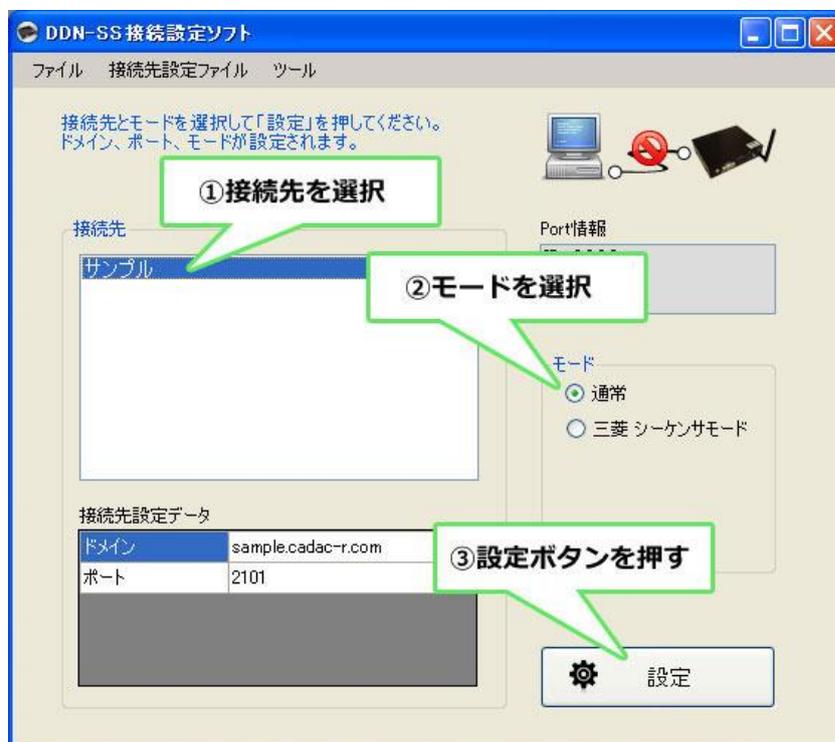
ポート：DDN-SS に設定したポートを入力。(デフォルト:2101)

を入力して「保存」ボタンをクリックし、接続設定を追加します。

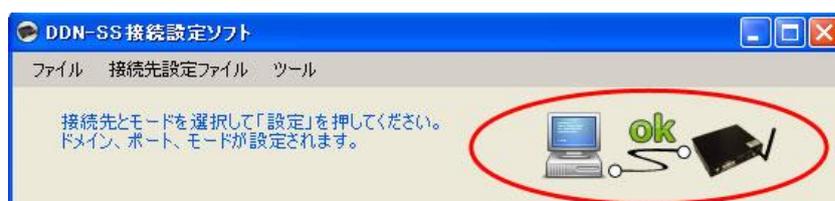
「接続先設定リスト」画面を閉じてください。

5.4 接続設定

接続先、モードを選択して「設定」ボタンをクリックしてください。



以下のように表示されれば、接続完了です。



これでリモート先の RS232 機器に接続できます。

5.5 うまく行かない場合

以下を確認してください。

- ・4.2.2 の仮想 COM ポートソフトの設定を参照して、Network タブの Hostname : が選択されているか確認してください。
- ・ネットワークの設定、ドメイン名、ポート番号を確認する。
- ・手動で設定を試してみてください。

6 WEB 設定画面

6.1 IP アドレスの設定

「Network」 > 「(WiFi) IP Settings」 の項目をクリック

固定 IP アドレスの設定

「Use the following IP address」 をチェックし、 IP アドレス等を設定します。「Apply」 をクリックします。



Home

Configuration

- Network
- Serial Ports
- GPIO
- Alarms
- System
- Remote Management
- Users

Applications

- RealPort

Management

- Serial Ports
- Connections

Administration

- File Management
- Backup/Restore
- Update Firmware
- Factory Default Settings
- System Information
- Reboot

Logout

Network Configuration

▼ Ethernet IP Settings

Configure the network below. IPv6 settings are shown here

IPv6

Site Local Address: 2001:A0B8:B80B::240:9DFF:FE3B:88
Link Local Address: FE80::240:9DFF:FE3B:885E

IPv4

Obtain an IP address automatically using DHCP

Use the following IP address:

* IP Address:

* Subnet Mask:

Default Gateway:

Enable AutoIP address assignment

* Changes to DHCP, IP address, and Subnet Mask may effect

6.2 無線設定

6.2.1 無線基本設定

「Network」 > 「WiFi LAN Settings」をクリックします。

The screenshot shows the 'Network Configuration' interface. The 'WiFi LAN Settings' section is expanded, showing the following fields and options:

- Network name: [] (SSID)
- Connect to any available WiFi network (selected)
- Connect to access point (infrastructure) networks only
- Connect to peer-to-peer (ad-hoc) networks only
- Country: Japan
- Channel: Auto-Scan
- Transmit power: 16 dBm
- Enable Short Preamble (checkbox)
- Enable Antenna Diversity (checkbox)
- Apply button

Below the settings, there are links to other configuration sections: WiFi Security Settings, WiFi 802.1x Authentication Settings, Network Services Settings, Socket Tunnel Settings, and Advanced Network Settings.

Network name : 接続するアクセスポイントの SSID の設定。

Connect to any available WiFi network : 接続可能なアクセスポイントに接続。

Connect to access point (infrastructure) networks only : 指定した SSID に接続。

Connect to peer-to-peer (ad-hoc) networks only : 一対一のネットワークに接続。

Country : 使用する国の設定をします。

(国の法律に合った無線チャンネルの設定がされます。)

Channel : 無線チャンネルの設定。

Transmit power : 出力レベルの設定をします。

Enable Short Preamble : ショートプリアンプルの設定。

Enable Antenna Diversity : 二つのアンテナを使用する際に設定が有効になります。

受信感度を向上させます。

6.2.2 無線セキュリティの設定

「Network」 > 「WiFi Security Settings」をクリックします。

Network Configuration

- ▶ WiFi IP Settings
- ▶ WiFi LAN Settings
- ▼ WiFi Security Settings

Network Authentication

Use any available authentication method

Use the following selected method(s):

- Open System
- Shared Key
- WEP with 802.1x authentication
- WPA with pre-shared key (WPA-PSK)
- WPA with 802.1x authentication
- Cisco LEAP

Data Encryption

Use any available encryption method

Use the following selected method(s):

- Open System (no encryption)
- WEP
- TKIP
- CCMP

WEP Keys

Transmit key: 1 2 3 4

Encryption Keys:

1:

2:

3:

4:

WPA PSK

A Network SSID is required before a passphrase can be entered for WPA-PSK authentication. *Note: Enter the Network name (SSID) on the WiFi LAN Settings tab.*

Passphrase:

Confirm:

Username/Password

Enter a username/password when the following network authentication methods are enabled: WEP with 802.1x authentication, WPA with 802.1x authentication, or LEAP.

Username:

Password:

Confirm:

- ▶ WiFi 802.1x Authentication Settings
- ▶ Network Services Settings
- ▶ Socket Tunnel Settings
- ▶ Advanced Network Settings

Network Authentication : 無線認証規格の設定をします。

Use any available authentication method : 可能な認証方法を使用する。

Use the following selected method(s) : 選択された方法を使用する。

Open System : 認証なし。

その他 : それぞれの規格を使用。

Data Encryption : 暗号化規格の設定をします。

Use any available authentication method : 可能な暗号方法を使用する。

Use the following selected method(s) : 選択された方法を使用する。

Open System : 暗号化なし。

その他 : それぞれの規格を使用

WEP Keys WEP キーの設定

Transmit Key : 使用するキーを選択します。

Encryption Keys : 暗号化キーの設定 (* 16進を入力してください)

WPA PSK

Passphrase : パスフレーズの設定。

Confirm : パスフレーズの確認用

Username/Password

802.1x 認証に使用するユーザー名と、パスワードの設定をします。

6.2.3 無線 802.1x 認証設定

「Network」 > 「WiFi 802.1x Authentication Settings」 をクリックします。

Network Configuration

- WiFi IP Settings
- WiFi LAN Settings
- WiFi Security Settings
- WiFi 802.1x Authentication Settings**

These settings are not required based on the current WiFi authentication settings. These options are only configurable when **WEP with 802.1x authentication** or **WPA with 802.1x authentication** are enabled on the **WiFi Security Settings** tab.

EAP Methods:

- PEAP
- TLS
- TTLS

PEAP/TTLS Tunneled Authentication Protocols:

- GTC
- MD5
- MSCHAPv2
- OTP
- CHAP
- MSCHAP
- TTLS-MSCHAPv2
- PAP

Apply

Client Certificate

A client certificate and private key is required when TLS is enabled.

Certificate File: 参照...

Private Key File: 参照...

A password is required only if the key file is encrypted:

Password:

Confirm Password:

Upload

Trusted Certificates

Verify server certificates

Trusted Certificate File: 参照...

Upload

Installed Certificates

Action	Certificate File Name	Description	Size
No certificates currently installed.			

Delete

- Network Services Settings
- Socket Tunnel Settings
- Advanced Network Settings

無線セキュリティで 802.1x 認証の使用する場合に設定が有効になります。

EAP Methods : Extensible Authentication Protocol (拡張認証プロトコル)の設定

PEAP/TTLS Tunneled Authentication Protocols : PEAP、TTLS で使用する認証プロトコルの設定

Client Certificate : TLS を使用する際のクライアント証明書のアップロード

Trusted Certificates : 信用された証明書のアップロード

Installed Certificates : アップロードされた証明書一覧

6.3 シリアルポートの設定

6.3.1 仮想シリアルポートの設定

(注、製品出荷時に設定されています。設定されていない場合のみ設定してください。)

「SerialPorts」をクリックします。

Serial Port Configuration				
Port	Description	Profile	Serial Configuration	Action
Port 1	None	RealPort	N/A	Copy...
Port 2	None	TCP Sockets	9600 8N1	Copy...

Port 項目の「Port1」をクリックし、RealPort に設定します。

6.3.2 当社 DDNS サーバ用の設定

(注、製品出荷時に設定されています。設定されていない場合のみ設定してください。)

「SerialPorts」 > 「Port 2」をクリックします。

Serial Port Configuration				
Port	Description	Profile	Serial Configuration	Action
Port 1	None	RealPort	N/A	Copy...
Port 2	None	TCP Sockets	9600 8N1	Copy...

TCP Sockets に設定します。もう一度「Port2」をクリックします。Port2 設定画面が表示されます。

Port Profile Settings > TCP Client Settings の設定を以下のようにします。

「Automatically establish TCP connections」をチェック。

「Connect when data is present on the serial line」を選択。

「Match string:」に「C」（大文字）を入力。

「Strip string before sending」をチェック。

「Server (name or IP):」に[210.141.99.105]を入力。(当社 DDNS サーバ IP アドレス)

「Service:」は[Secure Sockets]を選択。

「TCP Port:」には[443]を入力。

「Apply」をクリックします。

The screenshot shows the 'TCP Client Settings' configuration page. It includes the following elements with callouts:

- ① チェック**: A green checkmark next to the 'Automatically establish TCP connections' checkbox.
- ② チェック**: A green checkmark next to the 'Connect when data is present on the serial line' radio button.
- ③ 「C」を入力 (大文字)**: A green callout pointing to the 'Match string' input field containing the character 'C'.
- ④ 「チェック」**: A green checkmark next to the 'Strip string before sending' checkbox.
- ⑤ 「210.141.99.105」を入力**: A green callout pointing to the 'Server (name or IP)' input field containing the IP address '210.141.99.105'.
- ⑥ 「Secure Sockets」を選択**: A green callout pointing to the 'Service' dropdown menu, which is set to 'Secure Sockets'.
- ⑦ 「443」を入力**: A green callout pointing to the 'TCP Port' input field containing the number '443'.
- ⑧ クリック**: A green callout pointing to the 'Apply' button at the bottom left.

次ページに続きます

Advanced Serial Settings > TCP Settings の設定を以下のようにします。

「Close connection after the following number of idle seconds」をチェックします。

Timeout:に「1」を入力します。

「Apply」をクリックします。

Serial Port Configuration - Port 2

- ▶ Port Profile Settings
- ▶ Basic Serial Settings
- ▼ **Advanced Serial Settings**

The following settings are advanced settings used to fine tune the serial port and work in most situations.

Serial Settings

- Enable Port Logging
Log Size: 32 KB

TCP Settings

- Send Socket ID
Socket ID:
- Send data only under any of the following conditions:
 - Send when data is present on the serial line
Match string:
 Strip match string before sending
 - Send after the following number of idle milliseconds
1000 ms
 - Send after the following number of bytes
1024 bytes
- Close connection after the following number of idle seconds
Timeout: 1

① チェック
② 1を入力
③ クリック

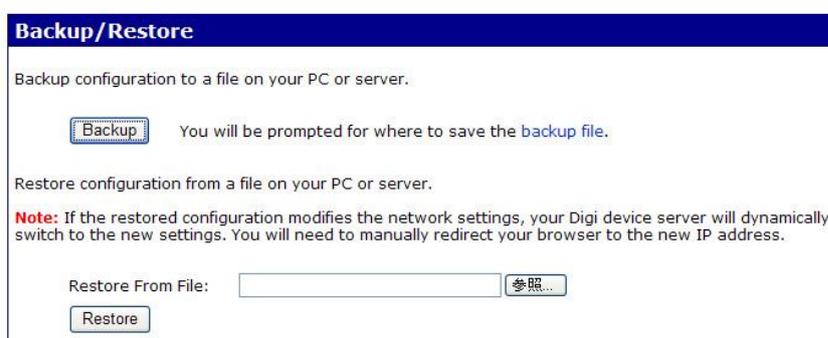
DDNS サーバ用の設定はこれで完了です。

6.4 設定の保存と復元

左サイドバーの Administration 項目の「Backup/Restore」をクリックします。



以下の画面が表示されます。



6.4.1 設定の保存

「Backup」をクリックすると設定ファイルがダウンロードできます。

6.4.2 設定の復元

「参照」をクリックし、復元するファイルを選択します。

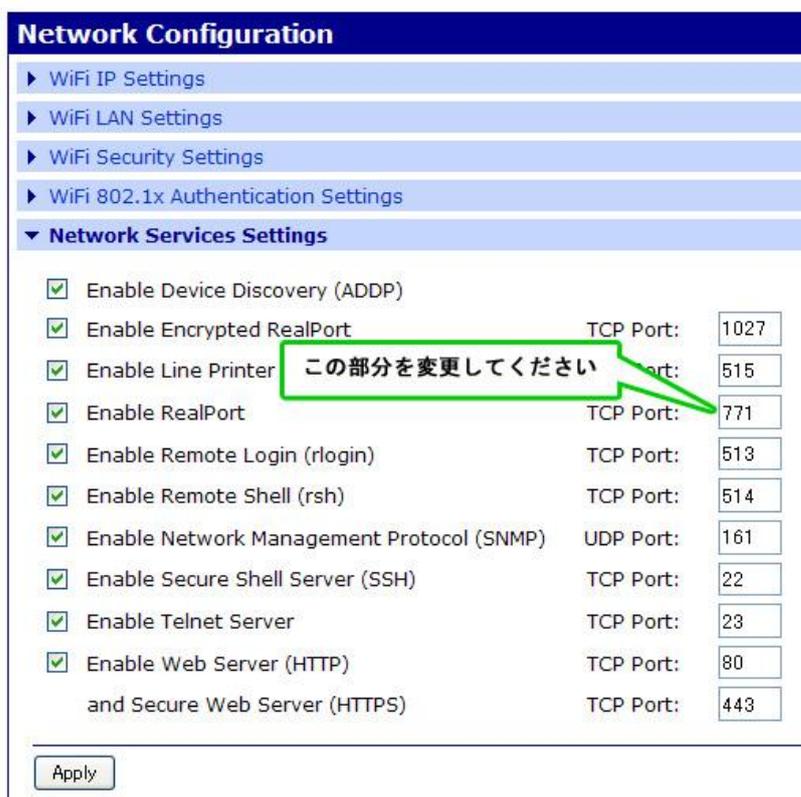
「Restore」をクリックします。

* 設定を復元すると本製品のネットワーク設定が変更されるので、再接続する際は復元する設定の IP アドレスに手動でアクセスしてください。

6.5 仮想シリアルポートのネットワークポートの設定

左サイドバーの Configuration 項目の「Network」の「Network Services Settings」で設定画面が表示されます

RealPort の箇所の「TCP Port:」を設定します。



Network Configuration		
▶ WiFi IP Settings		
▶ WiFi LAN Settings		
▶ WiFi Security Settings		
▶ WiFi 802.1x Authentication Settings		
▼ Network Services Settings		
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Device Discovery (ADDP)		
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Encrypted RealPort	TCP Port:	1027
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Line Printer	TCP Port:	515
<input checked="" type="checkbox"/> Enable RealPort	TCP Port:	771
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Remote Login (rlogin)	TCP Port:	513
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Remote Shell (rsh)	TCP Port:	514
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Network Management Protocol (SNMP)	UDP Port:	161
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Secure Shell Server (SSH)	TCP Port:	22
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Telnet Server	TCP Port:	23
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Web Server (HTTP)	TCP Port:	80
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Web Server (HTTPS)	TCP Port:	443

Apply

* ポート番号を変更する際は、ルーター、仮想 COM ポートの設定を設定したポート番号に合わせてください。

6.6 集荷時の設定に戻す

「5.4.2 の設定の復元」で付属 CD の設定ファイルを読み込みます。

設定ファイルは以下の設定内容になります。IP アドレス DHCP 設定。シリアルポート等の設定済み。

Port 1 RealPort

Port 2 TCP Sockets (当社 DDNS 用の設定になっています。)

6.7 おもな初期設定項目

パスワード等

ユーザ名 : root

パスワード : dbps

IP アドレス : DHCP 自動取得

無線設定

接続先 S S I D : 指定なし (接続可能なアクセスポイントに接続)

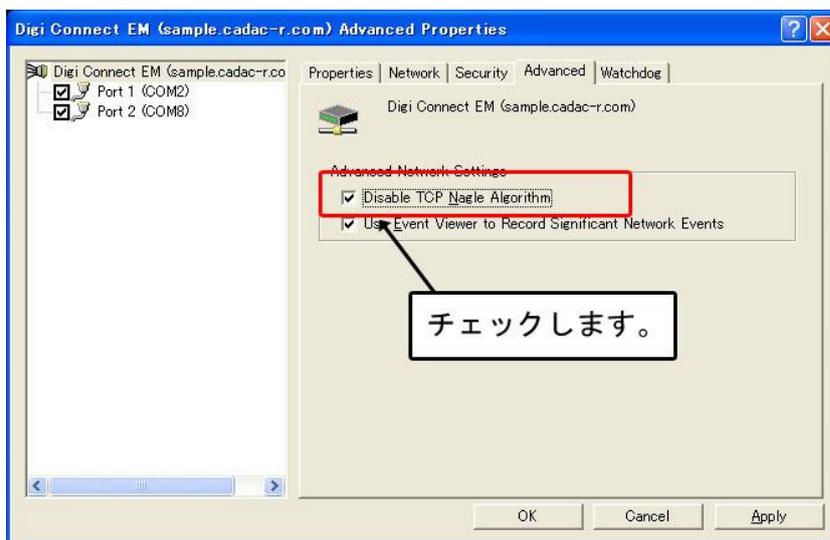
認証 : 認証を行わない

暗号化 : 暗号化を行わない

7 仮想COMポートの設定例

7.1 Nagle アルゴリズムを無効にする（通信速度が改善する場合があります。）

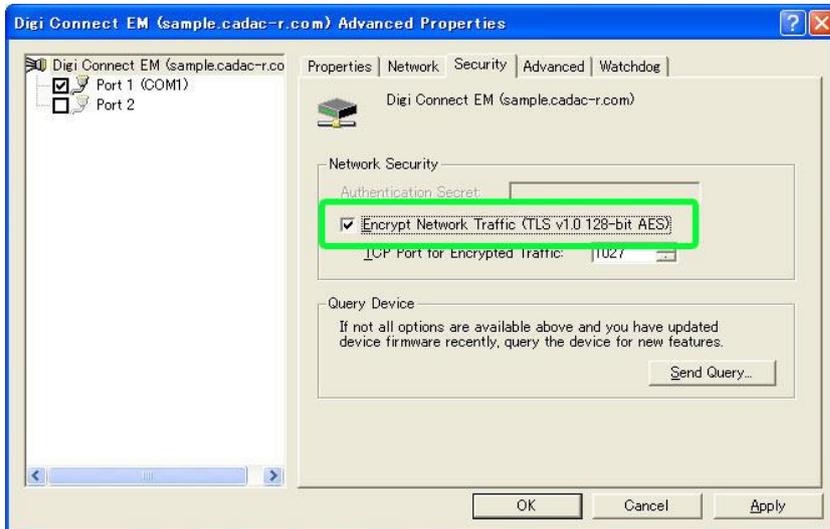
仮想COMソフトのプロパティを開き、Advanced タブの[Disable TCP Nagle Algorithm]をチェックします。



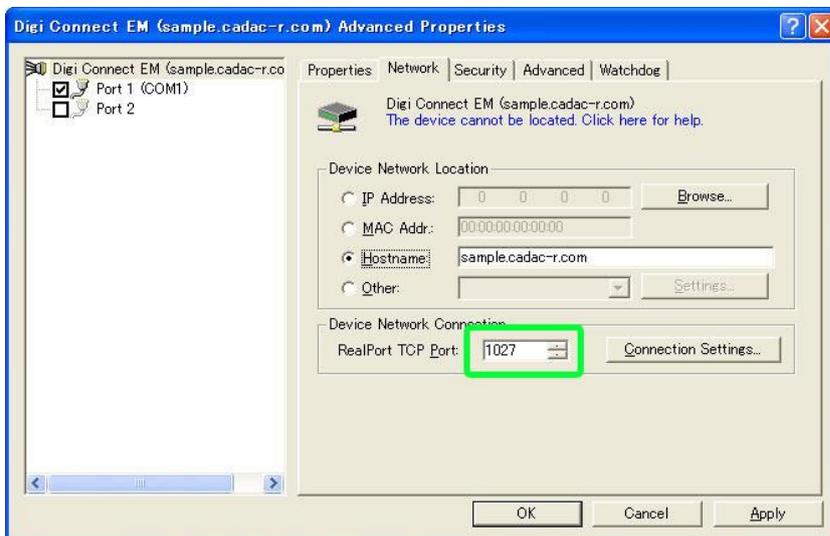
チェックします。

7.2 通信の暗号化

仮想 COM ソフトのプロパティを開き、Security タブの[Network Security]の Encrypt Network Traffic をチェックします。



Network タブの RealPort TCP Port を「TCP Port for Encrypted Traffic」で指定されているポート番号にします。(デフォルト値 1027)



8 仕様

8.1 外観寸法

外観寸法 (本体部)	幅 140mm×高さ 35mm×奥行き 116mm (突起部含まず)
------------	------------------------------------

8.2 ネットワークインタフェース

8.2.1 無線タイプ

規格	IEEE 802.11b 標準
周波数	2.4GHz
データレート	最大 11Mbps (自動フォールバック)
モジュレーション	DBPSK (1Mbps)、DQPSK (2Mbps)、CCK (11、5.5Mbps)
送信パワー	16dBm (標準)
受信感度	-82dBm@11Mbps
コネクタ	RP-SMA×1 または 2

8.2.2 有線タイプ

規格	IEEE 802.3 標準
物理レイヤ	10/100Base-T
データレート	10/100Mbps (オートセンシング)
モード	全二重または半二重 (オートセンシング)
送信パワー	コネクタ: RJ-45

8.3 動作環境

動作温度	-5℃～60℃
湿度	5%～90%

お問い合わせ先



キャダックRシステム株式会社

〒920-0205 / 石川県金沢市大浦町ホ1 0 番地 3

TEL : 076-235-9588 / FAX : 076-237-9577

Mail : r-system@cadac-jp.com

URL : <http://www.cadac-r.com>